

auひかり ホーム 光回線工事実施について

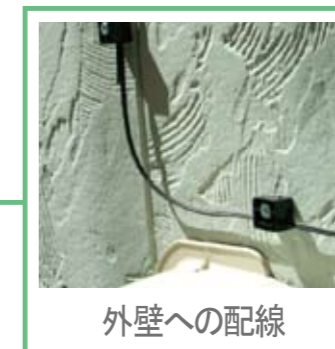
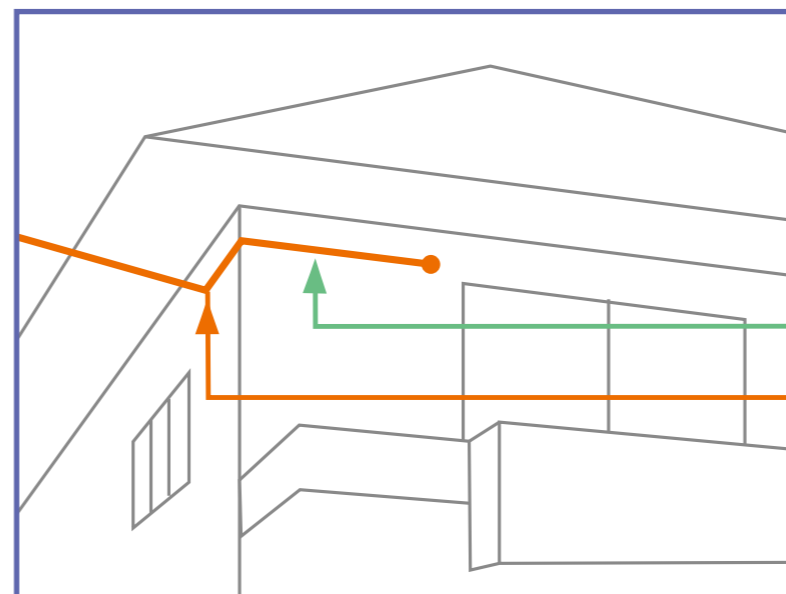
1 光回線が敷設されているお客様宅近辺の電柱から、お客様宅の建物壁まで光回線を引込み、電話回線等の既存の引留め金具を利用して光回線を固定します。

※既存の引留め金具の利用ができない、または付いていない場合には、新規に引留め金具を設置させていただく場合があります。その場合は金具を固定するために壁面への穴あけが必要となります。

● 新規引留め金具設置について

引留め金具は、約70mm(縦)×約25mm(横)×約60mm(高)です。固定用のネジ釘にて引留め金具の上下2箇所を壁面に固定します。その際、直径約6mm、深さ約33mmの穴が2箇所あきます。

光回線の屋外壁配線イメージ



外壁への配線



新規金具引留め例

2 お客様宅内に光回線を引込み、宅内の引込み口近辺に光コンセントを設置します。

既存の引込み口(エアコンダクト、電話線の配置等)を利用して、お申込者様の部屋に光ファイバーケーブルを引込みます。既設の引込み口がない場合は、壁面に穴あけ(直径約10mm)して敷設します。光ファイバーケーブルおよび光コンセントは、ご利用契約解除後も残ります。

※光回線工事の際に設置した光ファイバーケーブルおよび光コンセントは、ご利用契約解除後も残置いたします。

撤去をご希望の場合、ご契約者様にご確認ください。

3 ご利用を希望される部屋に敷設した光回線を、部屋内に設置するONUと接続します。

光回線の引込み
工事の例



光コンセント



電話線の配管を利用



エアコンダクトを利用



新規穴あけ

● 工事実施後の原状回復について

工事実施後の原状回復の義務は負いません(壁の貫通後に撤去が必要となった場合は、防水侵食対策を行ないます)。